

別記様式第9（省令第34条関係）

建築物の新築，改築若しくは用途の変更
又は第一種特定工作物の新設許可申請書

都市計画法第43条第1項の規定により		（建築物） （第一種特定工作物）		の	（新築） （改築） （用途の変更） （新設）		の許可を申請します。	
（宛先） 鈴鹿市長		申請者		住所又は所在地 氏名又は名称及 び代表者氏名 電 話		令和 年 月 日		
連絡先		住所又は所在地 氏名又は名称 担当者名 電話及びファクシミリ						
1. 建築物を建築しようとする土地，用途の変更をしようとする建築物の存する土地又は第一種特定工作物を新設しようとする土地の所在，地番，地目及び面積		所在地 地番						
		鈴鹿市						
		地目		公簿面積		実測面積		
				㎡		㎡		
2. 建築しようとする建築物，用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物の用途		申請用途		構造 階数				
				延べ面積				
				㎡				
3. 改築又は用途の変更をしようとする場合は，既存の建築物の用途		既存用途		構造 階数				
				延べ面積				
				㎡				
4. 建築しようとする建築物，用途の変更後の建築物又は新設しようとする第一種特定工作物が法第34条第1号から第10号まで又は令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物又は第一種特定工作物に該当するかの記事及びその理由		法34条第（ ）号 又は 令第36条第1項第3号（ ）提案基準（ ）						
5. その他必要な事項		道路，水路等の占用加工（有・無），農地転用（有・無）						
※ 受 付 番 号		年 月 日 第 号						
※ 許 可 に 付 し た 条 件								
※ 許 可 番 号		年 月 日 第 号						

備考1 ※印のある欄は記載しないこと。

2 4の欄につき，三重県開発審査会基準の場合は提案基準番号を記載すること。

3 「その他必要な事項」の欄には，建築物の新築、改築若しくは用途の変更又は第一種特定工作物の新設をすることについて他の法令による許可，認可等を要する場合には，その手続きの状況を記載すること。

4 この申請書には，別紙に掲げる書類を添付すること。

(別紙) 申請書作成要領

書 類 名	備 考
許可申請書	表紙
地番表 (3筆以上の場合)	地番の若い順に、町名、地番、地積 (公簿・実測)、所有権者その他の権利者を記入
法第34条各号証明書	各号に該当する内容を証明又は説明する書類を添付 法第34条第1号による建築物の場合は申請地から半径500m以内に30戸の確認資料を添付 分家住宅の場合は説明資料、添付書類 (住民票、戸籍謄本等) を添付
その他指示する書類	他の法令による許可、認可等の写しで都市計画法第43条許可前に必要なものを添付

添付図書

図書の名称	明示事項	縮尺	摘 要
附近見取図 (位置図)	☐ 方位 ☐ 申請地を赤枠で明示 ☐ 申請地の周辺の公共施設 ☐ 申請地から排出される雨水・汚水の放 流方向、放流系統を明示	1/2, 500	☐ 分家住宅の場合は本家 (線引き時) の位置を明示 ☐ 指定既存集落の範囲を明示 ☐ 水の流れは青線矢印で明示 ☐ 敷地増し申請の場合は従前地を青枠で明示
公図の写し	☐ 申請地を赤枠で明示 ☐ 民有地以外は色別で明示 (例: 道路—茶色, 水路—青色) ☐ 区域外工事の範囲を赤ハッチング明示		☐ 法務局発行印のある最新のものを添付 (発行日より 6 カ月以内) ☐ 区域がまたがる場合は合成し、日付、転写者の氏 名を明示 ☐ 敷地増し申請の場合は従前地を青枠で明示
土地全部事項 証明書	☐ 原本を添付		☐ 証明を受けようとする全ての土地の証明を添付 ☐ 法務局発行印のある最新のものを添付 (発行日より 6 カ月以内)
現況写真 (2方向以上)	☐ 申請地を赤枠で明示		
敷地求積図・ 求積表	☐ 申請地を赤枠で明示	1/250 以上	☐ 道路後退面積を別に明示 ☐ 敷地増し申請の場合は従前地面積を別に明示 (従 前地を青枠で明示)
土地利用計画 図	☐ 方位 ☐ 申請地を赤枠で明示 ☐ 道路・河川・水路・側溝等の名称・有 効幅員 (2 カ所以上) を明示 ☐ 申請地の境界線・境界寸法を明示 ☐ 予定・既存建築物の用途・位置を明示 ☐ がけ、擁壁の名称・位置を明示 ☐ 構造物 (区域内・外周) の名称・位置 を明示 ☐ 排水施設の名称・位置・構造・寸法・ 放流方向を明示 ☐ 高低差を明示 ☐ 宅地の断面図の位置を明示	1/250 以上	☐ 道路中心線、道路後退線、後退寸法を明示 ☐ 排水施設の管渠の長さがその内径又は内法幅の 120 倍を超えない範囲内に排水桝を明示 ☐ 水の流れは青線矢印で明示 ☐ 法面の勾配を明示 ☐ 現況写真の撮影位置・方向を明示 ☐ 敷地増し申請の場合は従前地を青枠で明示
宅地の断面図 (2 カ所以上)	☐ 申請地を赤線で明示 ☐ 予定・既存建築物の用途・位置を明示 ☐ がけ、擁壁の名称・位置を明示 ☐ 構造物 (区域内・外周) の名称・位置 を明示	1/200 以上	☐ 高低差を明示 ☐ 法面の勾配を明示 ☐ 敷地増し申請の場合は従前地を青線で明示
断面詳細図	☐ がけ、擁壁 (勾配、保護の方法、種類、 水抜穴の寸法及び間隔) ☐ 排水施設 (形状、種類、各寸法)		
建築平面図	☐ 各室の用途を明示 ☐ 建築求積図との整合が確認できる寸法 を明示	1/200 以上	
建築立面図	☐ 最高高さを明示	1/200 以上	
建築求積図・ 求積表	☐ 建築面積・延べ面積を明示 ☐ 建蔽率・容積率及び規定値を明示 (道路後退が伴う場合は後退後の敷地面 積で算定)		

(注意事項) ① 申請書は、2 部 (正本・副本) 提出してください。② 設計図書等は作成者が記名したものを提出してください。

③ 排水施設について、有効に下水が排水できるかどうか計算によらなければ判断できない場合は、排水流雨量計算書を添付してください。

また、区域の面積が 3, 000 m² 以上の場合、雨水流出抑制施設の設置に関して排水放流先の施設管理者と協議してください。

④ 道路後退 (セットバック) を伴う場合は、鈴鹿市に寄附済みの場合を除き、後退用地を含めた敷地で申請してください。